

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年2月4日(2016.2.4)

【公表番号】特表2015-505843(P2015-505843A)

【公表日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2015-013

【出願番号】特願2014-546255(P2014-546255)

【国際特許分類】

C 07 K	19/00	(2006.01)
C 07 K	14/71	(2006.01)
C 07 K	16/00	(2006.01)
C 12 N	15/09	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)
A 61 K	39/395	(2006.01)
A 61 K	35/28	(2015.01)
A 61 K	45/00	(2006.01)
A 61 K	48/00	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
A 61 P	35/04	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
A 61 P	9/00	(2006.01)

【F I】

C 07 K	19/00	Z N A
C 07 K	14/71	
C 07 K	16/00	
C 12 N	15/00	A
A 61 K	37/02	
A 61 K	39/395	T
A 61 K	35/28	
A 61 K	45/00	
A 61 K	48/00	
A 61 P	35/00	
A 61 P	35/04	
A 61 P	43/00	1 1 1
A 61 P	9/00	
A 61 P	43/00	1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月10日(2015.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

抗体のFc部分および可溶性IGF-IRタンパク質を含む融合タンパク質、その生物活性フラグメントもしくは類似体であって、配列番号16、配列番号12、配列番号14、配列番号18、配列番号8、または配列番号10の配列を含む、前記融合タンパク質、

その生物活性フラグメントもしくは類似体。

【請求項 2】

請求項 1 の融合タンパク質、その生物活性フラグメントもしくは類似体であって、配列番号 1 6、配列番号 1 2、配列番号 1 4、配列番号 1 8、配列番号 8、または配列番号 1 0 の配列からなる、前記融合タンパク質、その生物活性フラグメントもしくは類似体。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 の融合タンパク質、その生物活性フラグメントもしくは類似体をコードする核酸。

【請求項 4】

前記核酸が配列番号 7、9、11、13、15、もしくは 17 の配列を有する、またはその縮重改変体である、請求項 3 の核酸。

【請求項 5】

対象における血管新生関連疾病、癌、または転移疾患の阻害、予防、または治療に用いる、請求項 1 または 2 の融合タンパク質、その生物活性フラグメントもしくは類似体を含む薬学的組成物。

【請求項 6】

腫瘍転移、結腸直腸癌、肺癌、乳癌、多発性骨髄腫、多形膠芽細胞腫、肝癌、膀胱癌、肺臓癌、肝臓癌、ユーイング肉腫、または骨肉腫の治療に用いる請求項 5 の薬学的組成物。

【請求項 7】

前記肝癌が肝臓転移である、請求項 6 の薬学的組成物。

【請求項 8】

請求項 1 または 2 の融合タンパク質、その生物活性フラグメントもしくは類似体を発現するように遺伝子組換えされた自己細胞を対象に投与する、請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 項の薬学的組成物。

【請求項 9】

前記自己細胞は骨髄由来間葉系間質細胞である、請求項 8 の薬学的組成物。

【請求項 10】

前記融合タンパク質、その生物活性フラグメントもしくは類似体を、他の血管新生阻害剤、抗癌剤、および / または療法と組み合わせて対象に投与する、請求項 5 ~ 9 のいずれか 1 項の薬学的組成物。

【請求項 11】

前記融合タンパク質、その生物活性フラグメントもしくは類似体および前記血管新生阻害剤、抗癌剤、または療法は、同時にまたは連続的に投与される、請求項 10 の薬学的組成物。

【請求項 12】

前記抗癌剤または療法は、外科手術、放射線、化学療法、または標的癌治療である、請求項 10 または 11 の薬学的組成物。

【請求項 13】

前記標的癌治療は、小分子、モノクローナル抗体、癌ワクチン、アンチセンスヌクレオチド、s i R N A、アプタマー、または遺伝子治療である、請求項 12 の薬学的組成物。